

ひとわざ(一技)名: 震災の被害緩和をデザインの力とM2Mでバックアップ!

1. 概要(200字目安)

デザイン学科用品設計研究室および室内設計研究室では、「ていねいなくらしのためのものづくり・空間づくり」をテーマとして、生活用品や生活空間をデザインしています。今回は、これまで多くの震災を経験したわが国における「家具」のありかたを見直し、筑波大学小幡谷研究室とともに、軽量家具と家具固定の方法を共同開発しました。用品設計研究室と室内設計研究室は、震災による被害緩和をデザインの力で支援します。また、電子システム工学科前山研究室では、M2M(マシンtoマシン)通信により様々な形で遠隔監視を実現します。光、温度、振動などさまざまな情報をセンサーで読み取り、クラウドネットワークに情報を蓄積しデータの定常性の変化から異常を検出します。今回は、3Gシールドとマイコンにより実現した装置を展示します。

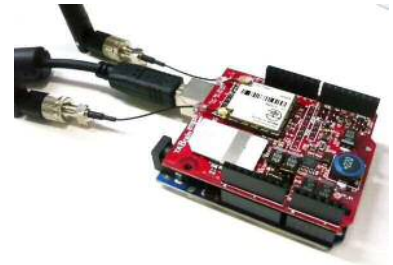
写真・図(要点説明)



波形単板コアパネルによる
ブロックシェルフ



波形ハニカムコアパネルによる
2種類のスツール



M2M通信デバイス
3Gシールド



固定具の跡が目立たない
植物繊維質材による壁面デザイン

2. 企業概況

会社名	拓殖大学産学連携研究センター	代表者名	川名 明夫
		窓口担当	学務部八王子学務課(工学部)
事業内容	大学と企業・自治体等との連携	URL	http://www.takushoku-u.ac.jp/laboratory/crc.html
主要製品	-		
住所	〒193-0985 東京都八王子市館町815-1		
電話/FAX	TEL 042-665-1447 / FAX 042-665-1519	E-mail	kenkyu@ofc.takushoku-u.ac.jp
資本金(百万円)	-	設立年月日	平成17年10月1日
		売上(百万円)	-
		従業員数	-

特記事項(①特許取得・各種認証等取得状況②提供できる価値及び応用分野③医療分野参入(取引)実績 他